



# 市長と

# 車座トーク

## 第22回 福相学区 (概要)



開催日時 2017年(平成29年)5月23日(火)

19:30~20:35

開催場所 福田公民館

参加者数 10人

次第 市長のあいさつ

意見交換

地域からまとめのあいさつ



### <車座トークでの主なご意見>

- ・3年前から、地域の活性化を目指し地域のお宝にはどんなものがあるかを自由に話し合う「わいわい塾」を開催している。通学路であり、散歩コースでもある有地川の土手に、水仙や彼岸花の球根を植え付け、フラワーロード化する活動につなげている。
- ・有地川の土手の整備には、広島県のアダプト補助金を活用しているが、種苗代・燃料代、肥料代等が年度末払いであるため不便であり、事業費も不足している。
- ・イノシシ対策として、5年ほど前から防護柵を設置し、3年前から、農林水産省の「森林・里山多面的機能発揮対策交付金」を活用して、里山づくりや侵入竹の除去作業などを行っている。今年度から、80%を国、残りの20%を市が負担することとなった。国の交付は決定しているが、市分が決定していないので、是非支給して欲しい。
- ・市立動物園は、アクセスが非常に良くなっていることから、2011年には37万人、現在で

も30万人前後の来園者があり、学区では「おもてなしの気持ち」で、動物園内外の植木の手入れ、富谷池周りの遊歩道・ばら園や、ドームランド周りの花壇の管理・草刈りをしている。

- ・先般、ドームランド周辺でアンケート調査をしたところ、90%の人から「日陰がほしい」、「休憩所が欲しい」、「簡単な食事のできる場所が欲しい」とあった。休憩ができ、地元の産品を販売できるような、小さな「道の駅」のようなものがないだろうか。
- ・ボランティアの会には250名の登録があり、花作り、地域清掃、見守り等行っている。子どもに関わっては、市内でも自慢できる放課後子ども教室を毎週一回開設し、約80名の児童が楽しく過ごしている。支援ボランティアの35名で自主学習の見守りなどを行っている。1学期は、5～6年生を対象に、普段は危ないからといって、使ったことのないような切り出しナイフや金づちを使った工作教室を実施しており、自分で作った作品で遊ぶ楽しさを味わっている。
- ・放課後子ども教室では、家庭ではできない経験をさせてもらい、親としてもありがたいと思っている。今後も市に支援してもらって、様々な経験をさせてやりたい。
- ・老人クラブでは、放課後子ども教室の協力や、わいわい塾等、学区で開催される行事には積極的に参加している。世代間交流が図られ、高齢者の生甲斐にもつながっていると実感している。
- ・PTAでは、毎年「芦田音楽祭」を有磨学区、芦田中学校とも連携して、地域や学校を含めた芦田町全体で実施している。これからも芦田町全体の交流が盛んになるよう活動していく。
- ・福山駅前の活性化には期待している。以前は、芦田から福山行きのバスがあったが、突然なくなった。福山に行くにはJR戸手駅まで30分は歩かないといけない。福祉を高める会で「お出かけ支援」事業に取り組んでいこうという話が出ており、先進学区を研究していきたい。市からも知恵や財政的な支援策を教えてください進めていきたい。
- ・一人暮らし高齢者の交通手段の確保は切実な問題である。運転免許証が無くなれば生活が思うようにならない。毎年、おでかけ乗車券をいただくが、すぐ無くなる。乗り合いタクシーなど整備してもらいたい。
- ・土木遺産の別所砂留は、福田共有林管理組合の山の中にある。今年3月には、市から支援を頂いたU字溝で4番砂留までの登山道整備が出来た。共有林と保安林にある2、3、5番砂留では土の堰堤が崩落しており復旧をしたいが、地権者の同意を得られず、県からは修復はできないと言われた。条例改正などで代表者や役員の同意を以って、借用、譲渡ができるようになれば、堰堤の修復も出来、県で管理してもらえないかと思っている。
- ・10番砂留の尾根の西側の谷にある有磨学区の大谷砂留で大小9か所の石組みが見つかっており、別所砂留と繋げる登山道を整備したいが、このルートは保安林、国有林の中にあるので、整備の許可申請等のアドバイスをお願いしたい。
- ・交通安全自治会は、今年度、交通安全教育推進モデル事業の指定を受けた。これまで事故防止に向け、道路標示、啓発幟や幕の設置、交通教室とか反射材着用の推進を図っているが、道路整備が大きな課題となっている。小学校通学路は、ここ3年来良くなったが、中高生の通学路は手つかずの状態にある。県道が3路線あるが、中央線のない狭い道路ばかりである。また、芦品広域農道は、福相学区から駅家方面にかけて歩道が全く未整備であった。最近、路肩整備が始まったが、できるだけ早く完成してもらえればと思う。

- ・建設中の下有地三斗木線は、ここ5年位中断している。中学校の横を通ることから、この整備ができれば中学生の自転車通学の危険性も緩和されると思う。
- ・体育会は4月のソフトボール、6月のソフトバレー、9月の運動会、12月の歩け歩けマラソン大会を実施し、就学前の子どもからおじいさん・おばあさんに至る幅広い年代の人が交流している。マラソン大会は、他学区との交流大会として根付いており、この大会を走った小中学生がインターハイ等、大きな大会に出場してくれて大変うれしい。
- ・今後は、地域を担う子どものために、育成会主催の球技大会を後援したり、歩け歩けマラソン大会に、より多くの参加をしてもらえるよう育成会と密な交流ができたらと思っている。
- ・すくすくランド「親子サロン」を始めたきっかけは、新生児の居る家庭を訪問した際、結婚して来たけど、同世代の人がどこに居るのか、出産したけど、同級生になる子が近くに居るのだろうかという不安の声を聞き、「学区まちづくり計画」に子育て支援策を位置づけ、3年前から乳幼児と保護者を対象に立ち上げた。親子サロンでは、手遊び・リズム遊び、大型絵本の読み聞かせや手作りのおもちゃなどを使って、親子がしっかり触れ合うことが出来、スタッフや親同士が育児について悩みや楽しみを自由に話し合える場となるようにと実施している。また、12年前から親子のふれあいを深めるため、「福祉を高める会」の支援をいただき、新生児に絵本を提供する「ブックスタート事業」を始め、大変喜ばれている。

#### 〈市長のまとめ〉

- ・わいわい塾の開催、有地川のフラワーロードの整備は、特徴のある活動でとても素晴らしい。アダプト奨励金は、県道周辺などの整備をするため、NPO 法人が支援している。県の管理河川の草刈り、集まりができるような場所を整備するような他の助成制度があれば、それらを取り入れるなど、地域の皆さんの負担を軽くすることを考えたいと思う。
- ・農林水産省の助成の話だが、国の全額補助の制度が変わり4/5となった。突然の話で市では予算を措置していなかった。このままにしておけないので、検討してみたいと思う。
- ・動物園対岸エリアの整備をどう進め、どう人を呼び込んでいくかは、地域と一緒に考えている必要がある。まちづくり計画の中に考え方を示してあると思うので、これから市に何ができるのかを考えていきたい。同時に、地元として、ここまでは協力できるということも伝えていただき、一緒にやらせていただきたい。
- ・ボランティア活動の支援としてどのような制度があるのか、十分説明がしきれず、要望しきれないのかもしれない。支援が多い、少ないもありますが、どうしたら自立した活動になっていくのか、自分たちで何とかしてみようという姿勢も大事だ。市内には同じような条件の中で活動しているところもあるので、なぜ元気がいいのか、なぜ自分たちだけで活動を続けて行けるのかといった事例をお伝えする。
- ・放課後児童クラブは、2019年までの計画を立て、市内全域で全学年を受け入れることを実現していく。今後、必要となる場所や職員確保を計画に沿って実施していく。
- ・乗り合いタクシーの制度については、改めて情報提供させよう。
- ・これからは、人生100歳時代。各地域で取り組まれている「いきいき100歳体操」や、高

齢者の居場所づくり事業にもチャレンジしてもらいたい。改めて情報提供を行う。

- ・PTAの活動については、子どもたちのために引き続き取組をお願いしたい。
- ・バスの廃止問題等、切実な現実を聞かせていただいた。これからの時代に我々が直面する問題。このことは大きなしかも急がなければならない課題ということで今、議論している。これから市の考え方を地域に聞いてもらい、意見を聞かせてもらうことになると思う。支所の方で、今日出た色々な課題を含めて、またそれ以外のことも含めて何か困りごとはないかを聞くなど、行政施策を説明するような努力をする必要があるかもしれない。
- ・先日、別所の砂留を見学させていただいた。土木学会の大きな賞を取られて、福山自慢の財産がこの学区にあるということを感じた。一方で2, 3, 5番砂留の管理の難しさを聞かせてもらいました。権利関係の複雑さや、国の保安林となっているところを、どう解決していけるかについて勉強させていただきたい。
- ・中高生の通学路については、何とかしてあげないと安心できない。改めて、どこに危険を感じ、心配されているのか聞かせて欲しい。まず、現場をしっかりと確認させて欲しい。今年度、交通安全教育推進モデル地区の指定を受けられたことはよかったと思う。指定を受けた2年間に、看板設置や道路標識を見やすくするなどの努力をしていただきたい。市には交通指導員制度がある。市が資格を作って登下校のいずれか1時間、学童たちを見守るというもので、月額22,600円支給する。福相学区でも検討してみたらどうか。
- ・体育会の活動を熱心に行っている感じがよく分かった。子ども会育成協議会としっかりと連携してやっていただくことが重要だと思う。高齢者と孫、子どもたちが一緒に何かやるという機会があれば、若い両親がどうしても引っ張られて三世代の絆が出来る。スポーツの持つ力は大きい。子ども会や町内会の加入率も高まるなど良い効果もあると思う。
- ・ネウボラの制度は、お父さんやお母さん方の悩みに寄り添って妊娠から出産、子育てまでの不安を解消していこうとするもの。すくすくランドは、我々よりも3年先に進んでいる。もし、解決できないことがあればネウボラ推進課に相談いただき、一緒にやらせていただければと思う。福相学区のすくすくランドを市がやっているネウボラに認定するというやり方もある。福相なりの子育て支援のやり方を引き続きやってもらい、要請があれば行政が支援していく。そういう形で一緒にやっていけるといいと思う。
- ・放課後子ども教室と放課後児童クラブが統合されるのではとの心配だが、それはない。それぞれ目的があり、家庭の事情に合った選択肢として両方が使えるという形になる。

#### 〈地域からのあいさつ〉

学区の人の話を聞いていて、この福相学区も明るいものだと思います。ただ、井の中の蛙にはなっちはいけないとも思いました。今日の話に出たことを、具体的に進めていくことが必要だと思います。そのためにも支援をお願いします。本日は、ありがとうございました。